



▲「日野興業の製品しか扱わないので、組み立てを覚える負担は少ないこともウチの魅力」と大谷さん



▲多くの職人は2tトラックに製品を積んで1日に5~6現場を回る。積み方一つで効率も変わる

# あらゆるスキルが活かせる仕事。 仮設トイレの職人。

元建設業の職人だけでなく、管理職や飲食店勤務などさまざまなスキルを持った職人たち。彼らが仮設トイレの仕事に行きついたその理由とは!?



大谷弘文  
さん  
(43歳)  
職人歴8年



林洋行  
さん  
(38歳)  
職人歴8年

## 今週の取材協力は

### 日野興業(株) 千葉センター

千葉県富里市七栄544-1

☎0476-91-1711

簡易屋外トイレなど仮設設備業界の大手。女性の活躍が進む建設現場のほか、イベントや災害用など注目される業界。全国各地に拠点があり、スピーディーな対応が求められる現場の声に応じて信頼を勝ち取ってきた。今回取材した拠点は千葉センター。センター長の秋葉さんは「まずは、商品、仲間、やるべきこと(心得)から覚えて欲しい。細かい技術は後から付いてきます」という。



「目の前の仮設トイレに臭いとか気にすることは無いよね。慣れるから。それよりも自分たちの仕事が見られていることを意識している。高もこの仕事も現場で予定以外の作業が発生するのは一緒。そこで最善を考えて行動する姿はしっかり見られて評価されていることを感じています」(林さん)

稼ぐ職人には多くのパターンがある。もちろん水道工や設備工の経験があれば仕事覚えは早い。現場を知っているだけでも有利だ。しかし現場経験ゼロからスタートしたある職人は、元事務管理職の経験を活かして作業効率を高め、稼ぐ職人になった。社会人として求められる資質に共通する部分は多々ある。それを個性で表現できたとき、稼ぐ職人が生まれているようだ。

稼ぐ職人に共通することは、過去の経験を無駄にしない人。